

まちづくり委員会

委員長 名：石渡 隆雄

副委員長 名：柿澤 伸宜

委員 名：栗原 正樹、田子 慎祐、松尾 崇、榊原 正博、大崎 厚郎

1) 事業報告

(I) 郷土愛を育む為の事業の開催

- (a) 内 容：勉強会の開催
- (b) 時 期：2011年 2月25日 (金)
- (c) 開催場所：鎌倉商工会議所301会議室
- (d) 対 象：正会員31名 入会希望者2名

(II) 鎌倉の特性を活かし、まちの魅力を発信する事業の開催

- (a) 内 容：第43回慈善茶会の開催
- (b) 時 期：2011年 5月14日 (土)
- (c) 開催場所：大仏殿高德院
- (d) 対 象：正会員33名 入会希望者1名 OB13名、お客様517名、
松林庵関係者13名、淡交会鎌倉支部25名
淡交会鎌倉支部青年部40名、鎌倉女子大学茶道部12名
鎌倉高校11名、大船高校15名 七里ガ浜高校12名
鎌倉ユネスコ協会23名、鎌倉ガーディアンズ10名
鎌倉てらこや12名、腰越漁港協同組合5名
こぼとナーサリー15名、社会福祉法人清和会3名 合計760名

(III) 関係諸団体と親睦を深め、信頼関係を構築する事業の開催

- (a) 内 容：第43回慈善茶会後に懇親会を開催
- (b) 時 期：2011年 5月14日 (土)
- (c) 開催場所：華正楼
- (d) 対 象：正会員26名 OB13名 協働団体関係者12名

(IV) 郷土愛を深める為の体験事業の開催

- (a) 内 容：体験事業の開催
- (b) 時 期：2011年10月 8日 (土)
- (c) 開催場所：腰越漁業協同組合
- (d) 対 象：正会員30名 市民参加者74名

2) 委員会報告

まちづくり委員会では、まちの魅力を再発見し愛着を持つ心を郷土愛とし、それを育む事を目的に一年間活動して参りました。

2月例会では、講師に鎌倉市国際親善大使でありますリシャール・コラス氏をお招きし、

「郷土愛」～心ひきつけるまち～というテーマのもと、国や文化の違いによって、まちづくりに対しての考え方の違いなどご講演頂きました。会員には、様々な事を気付く機会となり、大きな刺激になってと考えます。5月例会（第43回慈善茶会）では、参加者の皆様に鎌倉の歴史的遺産にて日本の伝統文化に触れてもらう事や鎌倉の魅力を通じて鎌倉というまちに対しての郷土愛を深められる場とする為、回廊では鎌倉の魅力を発信する為のブースを設置致しました。茶会当日は、晴天に恵まれ、会員、協働団体関係者の心の込めたおもてなしにより、多くの参加者の皆様にご満足頂けたと思います。第43回慈善茶会後の懇親会は、当会議所メンバーがご協力を頂いた皆様方に心から感謝の意をお伝えし、共に事業を成し遂げた達成感を分か合うと同時に今後の信頼関係構築を目的に開催いたしました。意見を交換し感謝の意をお伝える事により、交流を深め、更なる信頼関係を築く事が出来たことは、第43回慈善茶会のテーマ「愛する心をつなぐ」に合致出来たのではないかと考えます。10月例会では、「鎌倉海物語2011」というテーマのもと、自然豊かな鎌倉の魅力を感じて頂く為に鎌倉を海上より見て頂く機会として漁船による遊覧や定置網漁の体験を行いました。これらの事業を行う事で郷土愛を深める事に繋がり、市民意識の変革を経て地域力の向上に繋がったと確信致します。

この一年を振り返りますと、ご迷惑をお掛けした事も多々あり、反省するばかりです。また、皆様のご協力やご支援があり、一年間委員長として活動させて頂きました。本当に皆様には、心から感謝申し上げます。

最後になりますが、石井理事長をはじめとする正副の皆様、色々ご指導を頂きました菅原副理事長、柿澤副委員長をはじめとする委員会のメンバーの皆様、ご協力頂きました全ての皆様に心から感謝を申し上げさせて頂き、まちづくり委員会の委員会報告とさせて頂きます。一年間 本当に有難う御座いました。